

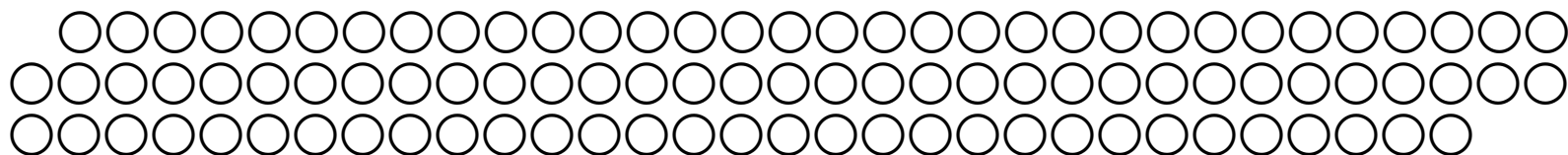
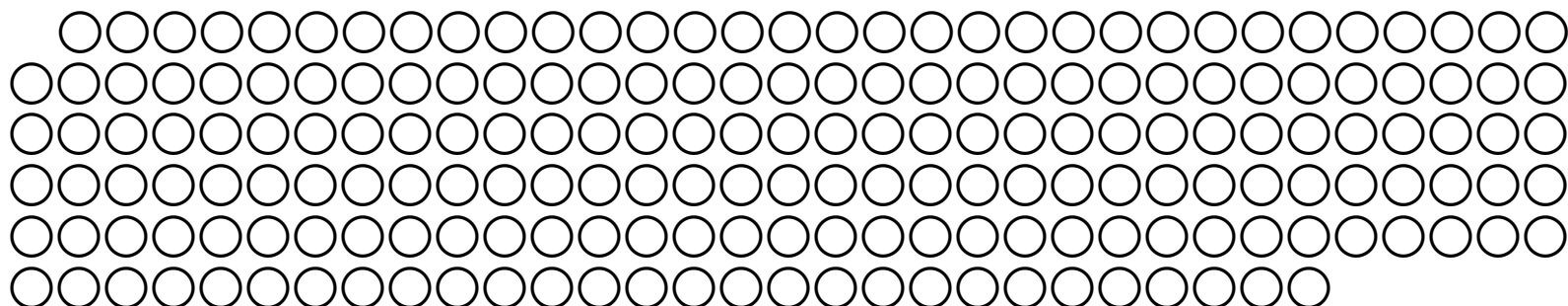
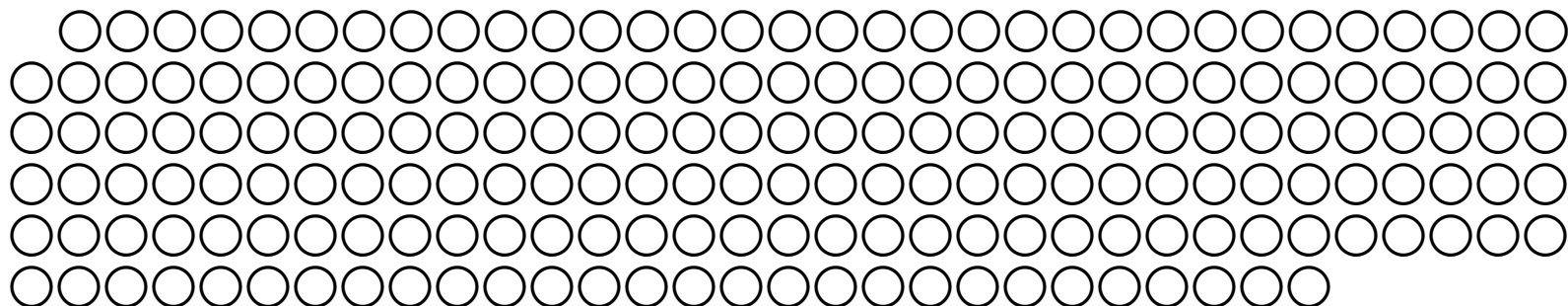
【素案】

安芸太田町総合ビジョン

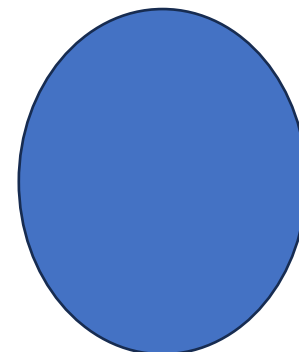
令和7（2025）年度～令和14（2032）年度

基本目標
と
ブランドイメージ

はじめに



2025年（令和7）3月
安芸太田町長 橋本 博明



目次

- 1 安芸太田町総合ビジョンの位置づけ
 - 2 本町の現状と課題
 - 3 目指す姿と重点方針
 - 4 施策体系
 - 5 資料
-

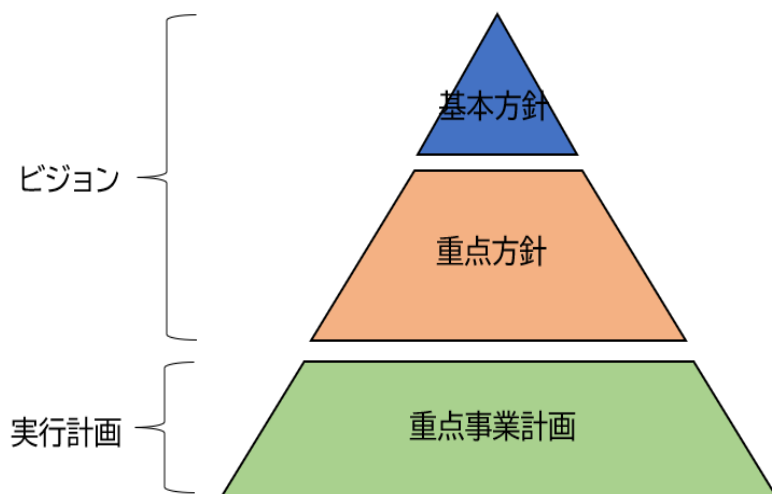
1 安芸太田町総合ビジョンの位置づけ

(1) 総合ビジョンの趣旨

安芸太田町総合ビジョンは、本町の行政運営の根幹となるとともに、課題とその解決に向けた取組の指針を住民と共有するための重要なツールです。従来の網羅的かつ詳細なものから、住民と共有すべきまちづくりの方向性と計画期間中に力を入れて取り組む分野等を、わかりやすく示すことを重視しました。

(2) 総合ビジョンの構成と期間

安芸太田町総合ビジョンは、長期的にみた本町の目指す将来像を示す「基本方針」と、今すぐ力を入れるべき取組の方向を示す「重点方針」から構成されます。基本方針は期間を定めず、重点方針は町長の任期二期分にあたる8年間を基本として4年ごとに見直します。



◆ 基本方針(長期的な視点に立った本町の目指す将来像)

- ・ 期間:期間を定めません。
- ・ 内容:キャッチコピーでわかりやすく示します。

◆ 重点方針(令和7～14年度)

- ・ 期間:4年毎に見直します。
- ・ 内容:①本町が力を入れる取組の方向を示します。
②取組の方向を踏まえた主要な取組を示します。
③計画を推進するための行政運営方針を示します。

◆ 重点事業計画(毎年度)

- ・ 期間:年度毎に見直します。
- ・ 内容:基本方針と重点方針を実現するために取り組む、分野別施策毎の具体的な事業の目標値(KPI)やスケジュールを示します。※毎年度の予算計画や事業評価と連動します。

2 本町の現状と課題

(1) 人口

令和2（2020）年の国勢調査における本町の人口は5,740人で平成27（2015）年の6,472人から11.3%と大幅な減少となっており、高齢化率は52.1%と県内で最も高い数値となっています。また、年間出生数も令和5（2023）年に8人と初めて年間10人を割りました。このまま減少傾向が続くと町の存続が危ぶまれる状況であることから、本総合ビジョンでは8年後の令和14（2032）年に4,500人を目標とし、人口減少を緩やかなものにすることを目標とします。

(2) 産業

近年、本町の町内総生産※は約200億円で推移しています。町内就業者数は減少が続き、令和3（2021）年度には2,998人となり平成23（2011）年度から428人減少（12.5%減）しました。また、町内総生産で見ると、本町は公共性の高い産業（電気・ガス・水道・廃棄物処理業、公務、教育、保健衛生・社会事業）の構成割合が約45%と、全国平均・広島県平均約20%に比べて、極端に高くなっています。民間活力を引き出し、税金に頼らない産業の振興が課題といえます。

※産業の生産活動によって、1年間に新しく生み出された付加価値の合計。 資料：広島県「令和3年度広島県市町民経済計算」

(3) 住民ニーズ

住民アンケート、ワークショップ等を行い、様々な立場や年代の住民のニーズを把握しました。住民からは、「人口維持のためには、町の魅力である自然環境や景観を活かしたまちづくりで、外から人を惹きつける必要がある」「生活のあらゆる場面で担い手不足が深刻になっており、担い手づくりが必要である」「移住者増加の取組と同時に、今住んでいる住民の生活利便性の向上による転出減を望む」等の声が多く聞かれました。

(4) まちづくりの振り返り

第2次安芸太田町長期総合計画（令和6（2024）年度末まで）では、7つの政策分野、33の施策に取り組み、人材育成交流センター「黎明館」、地域通貨morica、デマンド型タクシー「もりカー」等の生活利便性向上や外から人を惹きつける魅力づくりで一定の成果を出すことができました。これらの取組を更に発展・強化することが求められています。

3 目指す姿と重点方針

(1) 基本方針

大事にすべきキーワード

(基本方針の策定に向けたワークショップ等より)

自然 学び 体験 太田川 源流 川の綺麗さ 子育て 命
水 包容(力) 四季がはっきりしている たくましさ
長生きできる 自然の中で生きていける
柔軟(いろんな意味で) つながり 未来 次世代へ
人口が少ないからできることが多い
「誰が何者にだってなれる町」 ハイテク(DX)
可能性 自分が決められることが多い
なんでもできる町 広島市から1時間

3 目指す姿と重点方針

(2) 3つの重点方針

① 人口減少の抑制（社会増を目指す）

とりわけ社会動態に着目し、本町の強みを伸ばし（魅力を高め）、弱みを改善する（生活利便性の向上）ことで、移住者を増やし、転出者を抑え、社会増減を均衡更には増加させ、持続可能な人口の維持を目指します。

② 人づくりの推進

自然の豊かさや伝統文化の継承といった本町の強みを活かし、多様な価値観や能力を持った人材が、幼少期・青年期のみならず、全世代を通じて育てられる、「人づくり」の町「安芸太田」を目指します。

③ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

デジタル技術を積極的に取り入れることにより、地政学的なハンディキャップやマンパワー不足を克服し、むしろ様々なサービスをより高いレベルで提供できる、中山間地域のモデル地区を目指します。

3 目指す姿と重点方針

重点方針① 人口減少の抑制（社会増を目指す）

取組 1 住環境整備による暮らしやすさの向上

新たに整備した定住促進賃貸住宅や空き家を活用した住環境整備により、子育て世代を始めとした移住・定住を促進します。

取組 2 新生「道の駅 来夢とごうち」を核とした観光まちづくりの推進

「道の駅 来夢とごうち」再整備事業を起爆剤に、道の駅と町内観光資源とのネットワークを構築するとともに、農産物の集出荷体制の確立や地域特産品の生産・開発を支援し、雇用を作る等道の駅を核とした観光まちづくりを推進します。

取組 3 生活サポートの仕組みづくりによるコミュニティの維持

高齢者等の買い物支援やゴミ出し支援等日常生活をサポートする仕組みを検討し、高齢になっても住み慣れた場所に住み続けることができるコミュニティを実現します。

取組 4 太田川の自然と調和した快適な環境づくり

太田川の源流域のまちとして太田川の清流復活を目指した取組を開始するとともに、太田川を通じた都市住民との交流や「かわまちづくり」の促進により、本町の魅力向上と住民の郷土への誇りを育みます。

3 目指す姿と重点方針

重点方針② 人づくりの推進

取組 1 新・教育大綱の実現に向けた「森のようちえん」構想の推進

本町の子どもたちが、好奇心にあふれ、豊かな感性と自分で考える力を備えることができるよう、令和6年7月に策定した新たな教育大綱の内容の具体化を進めるとともに、とりわけ、森のようちえん構想の実現に取り組みます。

取組 2 地域資源を活かした産業の担い手育成

国土保全や環境保護にも通じる第一次産業の担い手について、積極的に支援を行い、育成に努めます。また、「地域商社あきおおた」等を中心に、森林セラピーやサイクリング、ウォーターアクティビティ等の新たな観光の担い手、ガイド等の育成に取り組みます。

取組 3 県立加計高校の支援による次世代育成

全国から集まった加計高校に通う生徒の成長を引き続き応援するとともに、加計高校生徒にも積極的に町づくりに関わってもらい、生徒も住民も双方が成長する取組を継続します。

取組 4 いつまでも健康で暮らすための健康づくり活動の推進

「健康のまち」宣言のもと、引き続き関係機関と連携した健康づくりや運動習慣作りを目的としたウォーキング事業に力を入れ、健康寿命の延伸を目指します。

3 目指す姿と重点方針

重点方針③ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

取組 1 morica（もりか）の活用推進

健康ポイント事業や地域貢献ポイント事業（仮称）等町の施策に参加するインセンティブを高める等、地域通貨morica（もりか）の更なる利用促進により地域経済の活性化を図ります。

また、moricaスマホアプリの普及拡大により、アプリを活用した情報発信等住民の利便性向上を図ります。

取組 2 公共交通の利便性向上と持続可能性の確保

デマンド交通システム「もりカー」の効率的な運行の実施と町内バスを含めた最適な公共交通網を継続的に検討します。

また、持続可能な公共交通網を実現するために、自動運転等の次世代交通システムについても検討を開始します。

取組 3 ICT活用による「学び」の充実

スマホ教室、パソコン教室等の実施により、デジタルリテラシーの向上を図ります。また、GIGAスクール構想に基づいた継続したICT環境の拡充による教育活動の推進を図ります。

4 施策体系

3つの重点方針を踏まえ、各6つの政策分野＋行財政運営について、各年度で取り組む施策をとりまとめて重点計画とします。（毎年度更新）

（1）6つの政策分野

① 子育て・教育・次世代育成

② 健康・医療・福祉

③ 社会基盤・防災・防犯

④ 生活利便性・環境

⑤ 産業・観光・しごと

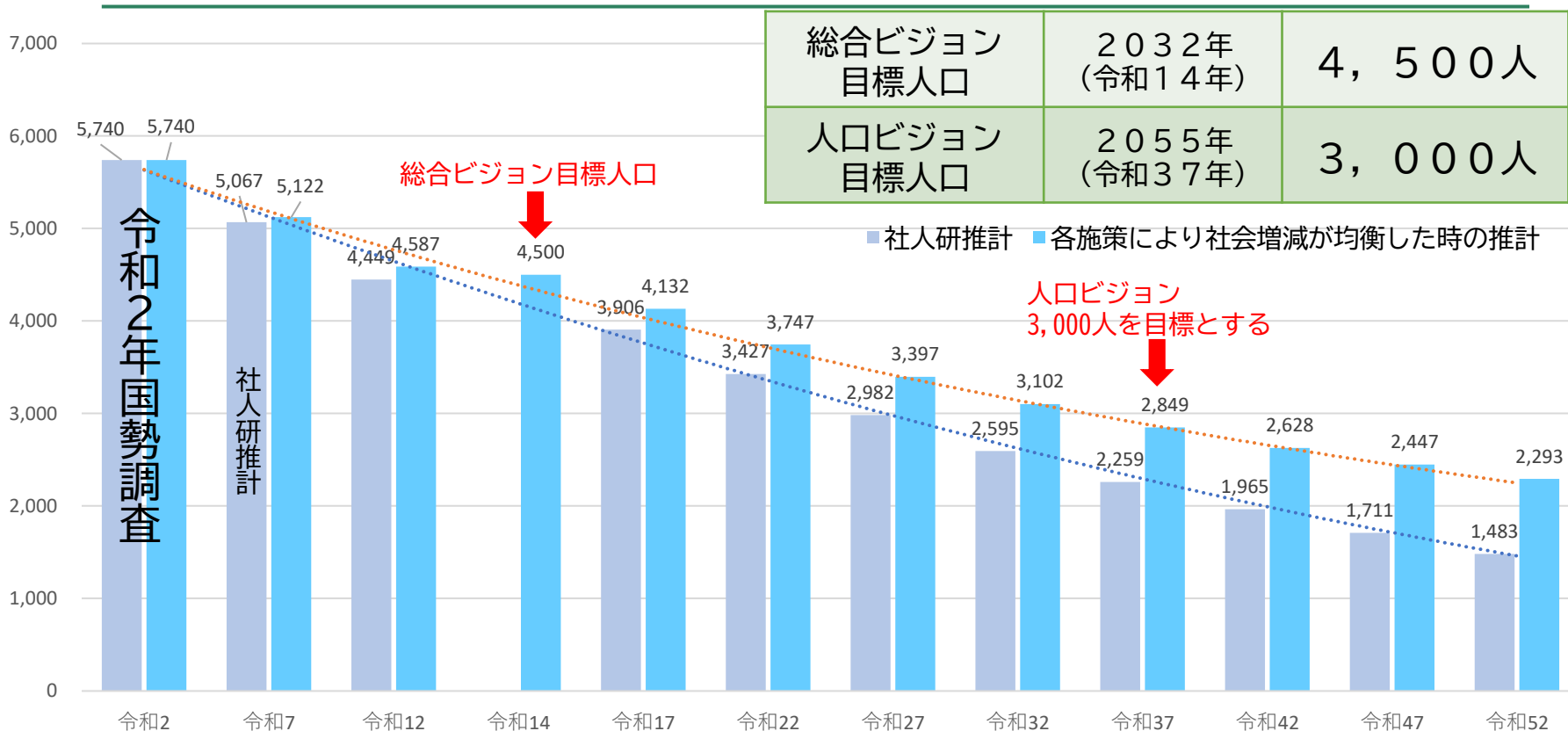
⑥ コミュニティ

（2）行財政運営

資料

1 将来人口の展望（人口ビジョン）

（１）本町の将来人口



- ◆ 将来目標人口「2032（令和14）年4,500人」
- ◆ 人口ビジョンの目標人口「2055（令和37）年3,000人」
- ◆ 本町の人口減少に歯止めをかけ、将来目標人口を実現するためには、転入者を増加させ、転出者を減少させるための取組が必要です。

2 政策と取組（令和7年度～令和10年度）

政策分野	取組	施策	人口減少の抑制	人づくりの推進	DXの推進
1 子育て・教育・次世代育成	住環境の整備による暮らしやすさの向上	定住促進賃貸住宅を活用した移住、定住の促進	○		
		空き家を活用した住環境の整備	○		
		子育て世帯の住環境整備定住応援制度の運用	○		
	子育て世帯応援による暮らしやすさの向上	通学応援助成事業	○		
		子育て世帯通勤応援	○		
		自然を活かした体験活動（新・教育大綱の実現）		○	
	安心して子育てができる環境整備	母子保健事業の推進（子育て支援相談・親子相談支援センター）	○	○	
		母子保健事業の推進（食育推進・乳幼児家庭訪問）	○	○	
		子ども子育て支援事業	○	○	
		放課後こども教室・児童クラブ	○		
		乳幼児等医療機関通院等交通費助成	○		
	教育と学びの環境整備	森のようちえん（新・教育大綱の実現）	○	○	
		国際交流・ALT活用事業		○	
		学校ICT環境整備事業		○	○
		加計高校支援事業	○	○	
	暮らしを豊かにする「学び」の環境整備	人権学習・啓発の推進		○	
		カルチャー教室の実施		○	○
		図書館運営の充実		○	

政策分野	取組	施策	人口減少の抑制	人づくりの推進	DXの推進
2 健康・医療・福祉	住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進	住民主体の活動モデル地区の拡充	○	○	
		介護予防と生活サポートの融合（通いの場）	○	○	
		介護人材の確保と人材育成支援	○		
		配食サービス	○		
	いつまでも健康で暮らすための健康づくり活動の推進	ウォーキングの推進		○	
		健康づくりポイント（morica活用）による運動習慣者の拡大		○	○
		住民のスポーツ活動の参加促進（体育協会活動支援）		○	
	安心して暮らすことができる健康づくりの環境整備	病院事業の持続可能なあり方検討と施設の環境整備	○		
		健診・検診事業（やまゆり健診・歯科検診）	○		
		疾病予防事業（感染症対策等）	○		
		巡回オンライン診療の実証	○		○
	地域共生社会の実現	障がい者福祉の支援	○		
		生活サポート拠点（加計拠点、とごうち拠点）の活用促進	○	○	
3 社会基盤・防災・防犯	快適で安全な生活インフラの整備促進	持続可能な上下水道事業の在り方検討	○		
		加計スマートICフルインター化	○		
	安心して暮らすことができる防災・防犯の環境整備	避難行動要支援者対策事業	○		○
		防災意識の醸成に向けた防災イベント、啓発活動		○	
		非常備消防の施設設備の計画的な更新	○		
		国土強靱化地域計画の改訂	○		
		空き家解体促進	○		
4 生活利便性・環境	暮らしを便利にする社会インフラの利便性向上	持続可能なバス路線（広域路線、町内路線）の運行	○		○
		もりカーの効率的な運行支援	○		○
		moricaアプリの普及と機能拡張			○
		自動運転バスの実証事業検討			○
	太田川の自然と調和した快適な環境づくり	太田川の環境調査		○	
		太田川を通じた都市住民との交流	○		
		河川敷等太田川流域の利活用推進	○		

政策分野	取組	施策	人口減少の抑制	人づくりの推進	DXの推進
5 産業・観光・観光	新生「道の駅来夢とごうち」を核とした観光まちづくりの推進	「道の駅来夢とごうち」再整備事業の着実な推進	○	○	
		地域特産品生産・開発支援	○		
		農産物の集出荷体制の確立	○		
		町内観光資源のネットワーク構築	○		
		広域観光の推進	○		
	「地域商社あきおおた（DMO法人）」を活かした観光まちづくりの推進	ヘルスツーリズムの推進	○		
		サイクルツーリズムの推進	○		
		ウォーターアクティビティの推進	○		
		インフラツーリズムの推進	○		
		新規観光コンテンツの掘り起こし、開発	○		
		町内観光関係者ネットワークの形成と活用	○		
		観光ガイド（森林セラピーガイド、アクティビティイントラ含む）育成		○	
		デジタルマーケティングを活用した誘客			○
		CRMを活用したリピーターの誘客			○
	安芸太田の特徴を活かした産業の振興	（農業）祇園坊柿のブランド化推進	○		
		（農業）小規模農業者認定制度の推進	○		
		（農業）認定農業者の支援	○		
		（林業）小規模林業支援	○		
		（商工業）地域通貨moricaを活用した地域経済活性化			○
		（商工業）がんばるビジネス応援事業	○	○	
	しごとづくりによる移住の促進	特定地域づくり協同組合運営支援	○		
		観光ガイド（森林セラピーガイド、アクティビティイントラ含む）育成		○	
		自伐型林業従事者育成		○	
		小規模農業者認定制度		○	
		地域おこし協力隊事業推進	○	○	

政策分野	取組	施策	人口減少の抑制	人づくりの推進	DXの推進
6 コミュニティ	住み慣れた場所に住み続けることができるコミュニティの維持	筒賀地域拠点促進活動	○		
		自治振興交付金事業（地域課題解決）	○		
		集落支援員事業	○		
		巡回オンライン診療の実証			○
		住民主体の活動モデル地区の拡充	○	○	
		生活サポートの仕組み検討（買い物支援・ごみ出し支援等）	○		
		地域課題解決に資する活動支援（企業版ふるさと納税活用）	○	○	
		住民参画によるまちづくりの推進		○	
	情報発信	moricaアプリを活用した住民への情報発信の推進	○	○	
		デジタルマーケティングを活用した関係人口の拡大	○		○
		ふるさと納税推進事業		○	

行 財 政 運 営	行財政運営	デジタル技術を活用した行政の推進			○
		行政情報システムの標準化・ガバメントクラウドへの移行			○
		公共施設等個別管理計画の策定、実施	○		
		職員の能力向上		○	
		住民参画によるまちづくりの推進		○	